一、経過

(1) 労働者側

被解雇職工、社員約四十名ハ其後共産区委宮下町白山館ニ時々集合シ対策ヲ講ジ居レルモ具体的方策立タサル模様ナリ

(2) 事業主側

A 九月二十八日営業部九名、編輯部十一名ノ社員ニ対シ解雇ノ通知ヲ発シタリ

B 望月社主ハ何レモリストカラ多少ノ金策ヲ為シ来リ未解雇社員職工約六十名ヲ使用シ来月八日ヨリ再新聞ヲ発行セリ

(3) 交渉状況

A 被解雇職工伏下大部外十五名ハ九月二十七日午後二時深川区洲崎弁天町中村政雄方ニ赴キ望月社主ニ面会ヲ申込ミタルモ岩田富美夫ヲ会行スルカ又ハ会人ト絶縁セサレハ面会セスト拒絶セラレ已ムナク引取リタリ

B 被解雇職工ハ宮越ヲ代表トシ本月四日内容証明郵便ニテ左ノ要求ヲ為シタリ

要求書

滞納賃銀及法規ニ依ル退職金ヲ即時支拂フ事

右要求ス

昭和五年十月四日

やまと新聞社整版部被解雇者一同

右代表者委宮下町二ノ六白山館内

宮越信一郎

深川区洲崎弁天町二ノ五中村事務所内

望月一郎殿

右ニ対シ望月ハ別記ノ如ク宮越ヲ代表者ト認メス第二総弛解雇ナル故解雇手当ヲ支給シ難シト回答ヲ為シタリ

尚本件ハ表面労働争議ナルモ実質ハ共産党員ノ